記入要領、記入例は削除して提出ください

（１）VC等

会社名：

代表者名：

設立日：　西暦　　年　月

上場有無：　有（西暦　　年　月）　／　無

役員数：　　名

社員数：　　名（単独）／　　名（連結）

資本金：　　百万円（単独）／　　百万円（連結）

※主要株主の名称と持ち株比率を記載ください。

主要株主：　ＸＸ（　％）、ＸＸ（　％）、ＸＸ（　％）

主要取引銀行：

主要関係会社：

※官公庁等から受けた補助金や認定等の実績がある場合は簡潔に記載ください。

国の事業への関わり：

VC等としての概要：

※VC等のビジネスに関する概要、活動分野・内容等について記載ください。

※特に、ベンチャー設立支援、上場支援等を通じた新産業の創出、新規マーケットの開拓に関する事業がある場合は具体的に記載ください。

（２）機関におけるファンド運用実績等

※最大１０件まで運用実績、組成中の取り組みなどを記載ください。

※個人として別の組織などでの実績は、（様式1-5）に記載いただきますので、本項は申請機関の実績を記載ください。

ファンド名：

ファンド規模：　　億円

内部収益率（ＩＲＲ）：　％

投資ステージ：

投資件数：　　　件

ＥＸＩＴ件数：　　件（うちＩＰＯ　件、Ｍ＆Ａ　件）

※「投資機能」には、設立するベンチャーへの投資手段（例：自社の運用しているｘｘファンドから投資可能等）を記載してください。

運用時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

投資機能：

補足事項：

※「補足事項」には、シード段階のハンズオン支援等の実績や、ファンド運営に関連する活動、制限等、補足すべき事項あれば記載ください。

（３）投資先の事業育成に関する実績

※実際に投資先を担当した具体的事例を直近のものから最大３件まで記載ください（経験が無い場合、本節の小項目を削除の上、「特に無し」と記載ください）。

担当した会社名：

投資ステージ：

活動内容及び役割等：

※「活動内容及び役割等」にはハンズオン支援の実施による事業化支援等により、ＩＰＯやＭ＆Ａを実現したなど、事業育成に関する実績があれば記載ください。

※経営陣のリクルートや事業会社との連携、関係する大学等があった場合はその旨を記載ください。

※取締役会等（ボードメンバー等）に入っていた場合や、リードとしてハンズオン支援を実施していた場合は、具体的に記載ください。

※「成果」にはIPO、M&A、大型資金調達等を具体的に記載してください。

成果：

育成担当時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

※活動実績に関して、補足すべき内容があれば「補足事項」に記載ください。

補足事項：

（４）シード段階等における大学等の事業育成に関する実績

※とくに創業前段階や、シード・アーリー段階において、実際に大学等の研究成果をもとにしたベンチャー設立、共同研究などにより社会還元を行った経験や、企業において新規事業を立ち上げた経験などがあれば、具体例を直近から最大３件まで記載ください（経験が無い場合、本節の小項目を削除し、「特に無し」と記載ください）。

担当した大学等名：

活動内容及び役割等：

※「活動内容及び役割等」には、起業前段階の大学等の技術シーズの創業に向けた支援活動や、企業における新規事業の立ち上げにおける主導的役割など、企業前段階からシード・アーリー段階における具体的な活動内容、役割などを記載ください。

成果：

担当時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

※大学等との活動実績、シード・アーリー段階での事業育成において主導した実績で補足があれば「補足事項」に記載ください。

（５）保有するネットワーク等の状況

※即戦力のVC等として活動する際、活用できる事業会社、専門人材のネットワークを記載ください（無い場合、記載不要）。

※創出を目指すベンチャー企業のグローバル市場への展開を見据え、新規事業、新規マーケットの開拓、知財戦略などについて重要な貢献を果たすネットワークなどがあれば記載ください（無い場合、「特に無し」と記載ください）。

（６）その他、補足事項等

※投資ファンドの責任者を兼務しており、有限責任組合員（LP）との間で職務専念義務などの制約を負っている場合、本事業に関わることによって生じる可能性のある利益相反の問題について、整理の状況、対応方法などを説明ください。

※その他、実績・資質等を説明する上で、補足すべき事項がある場合は自由に記載ください。